

審査結果報告書

平成 26 年 2 月 5 日

主 査 氏 名

阿古 潤哉



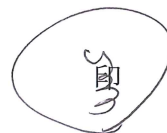
副 査 氏 名

青山 直善



副 査 氏 名

石川 厚之



副 査 氏 名

高平 尚伸



1. 申請者氏名 : DM11012 神谷健太郎

2. 論文テーマ :
虚血性心疾患患者の運動耐容能と生命予後を予測するための下肢筋力の有用性

3. 論文審査結果 :

人口の高齢化と発症年齢の若年化から虚血性心疾患はわが国の死亡原因の中で重要な位置を占めるようになってきている。虚血性心疾患においては心臓リハビリテーションが有効性の高い治療法として位置づけられている。運動耐容能は予後予測の非常に良い因子であることが判明しているが、これは骨格筋機能の影響を非常に大きく受ける。下肢の筋力測定は非常に簡便な方法であるが、これが心疾患の予後予測因子になるかどうかは不明であった。

申請者は、下肢筋力が運動耐容能を予測しうることをまず示した。さらに北里大学病院心臓血管センター心臓リハビリテーション患者のうち、下肢筋力を測定し、さらにトレッドミルを施行することができた虚血性心疾患患者の予後を検討し、下肢筋力の体重比が非常に強力な予後予測因子となることを示した。

学位論文はしっかりとした研究手法に立脚し、科学的に健全な結論を得ている。下肢筋力という簡便な方法ながら、それを強力な予後予測因子として示したことは申請者のユニークな発想であり高く評価された。審査では、申請者は副査及び主査からの質問に非常に適切な返答が可能であった。副査及び主査は、学位論文の内容の高さ、質疑応答の的確さから医学博士の学位にふさわしいと判断した。